



地元の野球チームを応援しよう！

今シーズンから、地元の野球チーム「オイシックス新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ」が、日本野球機構(NPB)の2軍(イースタンリーグ)に参加しました。

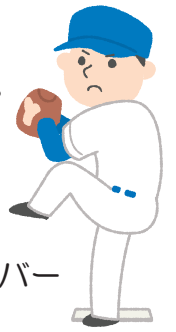
これから秋までに間に、巨人、東京ヤクルト、横浜DeNA、北海道日本ハム、東北楽天、千葉ロッテなどと「ハードオフエコスタジアム」等で計140試合が行われる予定です。



オイシックスの特徴としては、これからNPBの一軍を目指す若いメンバーと、経験豊富なベテランメンバーが混在しているところかと思います。

入場券(内野自由席)が1,000円前後とお手頃ですので、何度も足を運んで、お気に入りの選手を探してみるのも良いですね。

また、対戦チームの若手有望株や、調整中の有名選手のプレーが間近で見られそうですので、ぜひ一度足を運んでみましょう！



「Eco列車でいこう！」～第174回～ 四国バス데이きっぷの旅。(前)

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を照会するコーナーです！)



2月は誕生日だから、どこかに行きたい。

15,000円で3日間、四国全線が乗り放題になる「バス데이きっぷ(グリーン車用)」で旅することにした。JR四国に申込をして、バス데이きっぷの他、グリーン券などを郵送で受け取った。

2月22日(木)。午前中で退社して、新潟空港14時発のピーチアビエーションで関西国際空港へ飛んだ。外国人観光客が雑踏する南海電鉄のきっぷ売り場で「とくしま好きっぷ」を購入。電車(関空～和歌山)とフェリー(和歌山～徳島)を利用して、2500円で四国に上陸できる優れモノだ。

夕刻、和歌山市駅近くの角打ち(カウンター併設の酒屋)に入った。地元客のおじさんは「新潟から来たんか、和歌山の最高級の酒を飲ませてやるわ」と威勢がいい。知らぬ土地での交流は楽しかったが、いくら待てども「最上級の酒」は出てこなかったため、大衆的な地酒を自腹で飲んで店を出た。

和歌山ラーメンを食べた後、名物の「早すし(鯖寿司)」を購入し、港からフェリーに乗船。肉厚な鯖寿司を楽しんで、船内でのんびり。2時間ほどで徳島港に到着し、駅近くのホテルに泊まった。

2日目。徳島駅から高松行特急「うずしお2号」で四国一周の旅をスタートする。高松駅前のさぬきうどん店で朝食。また特急に乗り、高知へ向かう。阿波池田を過ぎると大歩危(おおぼけ)の谷に入る。あいにくの雨だが、深い谷からもやがあたり、幽麗な雰囲気が良い。特急で早くに通過するのがもったいないくらいだ。谷が開けると田畑や家が徐々に増え、どしゃぶりのまま高知駅に到着した。

雨が弱まるのを待って、飲食店が揃う「ひろめ市場」へ向かった。「かつをのタタキ」や「くじらカツ」など50以上の店がひしめき合うカオスな場所で、午前中から一杯やるのが高知流だ。いろいろと食指が動いたが、この先もおいしいものを食べる予定なので、カマボコをつまみに生ビール1杯で切り上げた。

高知駅に戻り、12:04発の観光列車「志国土佐 時代の夜明けものがたり」号に乗車した。ゆったりとした車内で、景色と食事を楽しみながら、優雅な時間が過ごせそうだ。(後半へつづく)



午前中から盛況の「ひろめ市場」



「時代の夜明けものがたり号」の車内



カツオデニッシュとビールで乾杯。